

## 第5回 倉敷市水道事業経営審議会会議録

1 日 時 令和3年3月24日(水) 14時30分～16時30分

2 場 所 水道局3階大会議室

3 出席者 出席委員12名

戸前会長, 内田委員, 沖山委員, 小田委員, 監物委員, 近藤委員, 武則委員

原田委員, 藤原佐委員, 藤原義委員, 森田委員, 山野委員

事務局12名

古谷水道事業管理者, 小松参事, 加藤参事, 大森課長, 末澤副参事兼課長, 橘鷹

副参事兼課長, 大橋課長, 鷲尾課長, 森兼課長代理, 今井課長,

岩知道課長代理, 小河原室長,

### 4 会 議

#### (1) 審議

##### 1 令和元年度決算報告について

##### <質疑>

委 員 令和元年度は順調な決算状況であったということでしょうか。

事務局 はい。平成31年1月に水道料金を値上げさせていただきましたので、収益は上がりました。

##### 2 学校水道水リフレッシュ化事業の報告について

##### <質疑>

委 員 大変ユニークで興味深い試みであると思います。

事務局 ありがとうございます。

##### 3 令和3年度事業会計予算について

##### <質疑>

委 員 「学校水道水リフレッシュ化事業の報告」の概要にある「学校施設の水飲み水栓設置事業」と「学校水飲栓直結給水化事業」は、子どもたちには一番良いと思いました

が、高置水槽の点検はしているが、この2事業は進んでいないとことのことですが、令和3年度予算の中に入っていないのでしょうか。

事務局 今年度水道局といたしましては、実際に学校で改修をしていただくための方針を決めまして、できるだけ実施して頂けるように働きかけをし、今後教育委員会との協議の中で実際にぜひやりたいという学校からの声があがりましたら予算を付けていきますので、最初から何校するという具体的な予算はまだあげていません。

委員 Pay Payの話がありましたが、カード決済についてはまだ考えていないということでしょうか。

事務局 Pay Payについては既にご利用いただいていると思いますが、カード決済については前回の水道事業経営審議会でご質問がありました時に、手数料の関係もありまだ着手できず検討しているとお答えをしておりますのでよろしくお願いします。

#### 4 広報のあり方・手法について

##### <広報紙アイデア記事に対する意見など>

委員 倉敷の水が「きき水」で、すごくおいしかったというところが印象的でした。若いお母さん方はミネラルウォーターを買い、子どもには水道水を与えたくないという思いが強いので、倉敷の水が「きき水」でおいしかったということをアピールしたらよいと思います。私は子育て広場や子ども食堂などに関わっており、若いお母さんや子どもたちと接する機会が多いので、そのような場で「水道水は安全でおいしいですよ」といったアピールができるビラのようなものがあればお配りしたいという意欲がございます。簡単なものでよいので、できれば作っていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

委員 私もいつから水道水を飲むことに抵抗を感じるようになったのか気になりました。先程のアンケートで若い人が広報くらっぴいに関心を示さないとありましたが、関心を示さないというのは裏返せば水道水に不信感がないということにも思います。以前程カルキ臭はしないと思いますが、子育て世代の親御さんは、ウォーターサーバーを家に置いたり、マーケット内で無料配布しているおいしい水を利用したりして、水道水はそのまま飲んではいけないといった意識がどこかにあると思います。東京に住んでいる友達に、水道水は数分間煮沸すれば塩素も抜け、他の有害物質も蒸発して味もよくて飲みや

すく体にもそんなに悪くないと聞いたことがあります。何分間煮沸すればいいかは自治体によって違い、それぞれのホームページで確認してくださいといったものも見たことがあるのですが、倉敷市のホームページには掲載があるのでしょうか。煮沸した方が安心な気がしますが、煮沸してしまうと、生の水道水と比べて保存期間が短くなるため迷う部分でもあります。

事務局 他の自治体のホームページを見ますと、「水道水がにおうことがありますのでその場合は煮沸してください」とあります。倉敷市は実際に公表していませんが、年明けに浄水課の職員に、実際に水道水を沸騰させて臭気等がどのようになるかの実験をさせたところ、5分間の煮沸で臭気が完全に抜ける結果となりました。ただ、同時に塩素も抜けてしまいますので、その水は保存には適しません。水道局はおいしい水を送るということを基本理念に常に仕事をしてしていますが、高梁川の水の状態により、基準値を満たしたものではありませんが、若干においができることがあります。もし気になる場合は、煮沸していただくのも一つの手段です。今ここで何分がベストかはお伝えできませんが、今後実験等をして状況がまとまり次第広報等でお知らせできればと思います。

委員 子どもたちに水道水の良さをPRする取り組みについては非常に良いことだと思っています。説明の中で、「子どもさんの後ろにいる親御さんにも届くように」という言葉がありました。そのとおりだと思います。紹介になりますが、業界の新聞に「子ども水道新聞」というものがあります。日本では水道水を飲むのは当たり前ですが、世界で水道水がそのまま飲めるのは8か国しかないとか、日本は水に恵まれていると思っいる人が多いが、実はそうではないということをつかりやすい説明をつけて大胆に書いてあります。また、低学年の子どもさんでも読めるように漢字にはルビをふってあり、非常にいいことが書いてあるので素晴らしいと思っています。業界の新聞にはなりますが、子どもさんたちへ育成事業をしていく中で、どういう使い方ができるのか、どういう紹介ができるのかを研究していただいて、PR等に生かしていただければと思います。

事務局 広報紙は、水道法等により必須の掲載内容が決まっていることや紙面の都合により、色々自由に掲載できる訳ではありませんが、ご意見を参考に今後の記事づくりを進めていきたいと思っています。貴重なご意見ありがとうございます。

<今後の広報のあり方・改善の余地について>

委員 広報紙に幼稚園での取り組みが掲載されていますが、その園長先生が私に水道局が来てくれたと凄く嬉しそうに話してくれたのをはっきり覚えています。広報に載せることも大切ですが、実際にうかがって地道にPRすることはもっと大事だと思います。紙面で読むだけでは分からないことも、実際に職員と触れ合い体験するとよく分かります。私自身も水道に対する不信感が20年くらい前からありました。それは水道水への不安を煽るような雰囲気です。浄水器が販売されていたためですが、実際に片島浄水場へ訪問して話を聞き、水道水が色々な基準をクリアしているのを知り、安心して飲めると感じました。水道局の方は自信をもって事業に取り組んでいただければと思います。

委員 私自身は水道水を飲みますが、孫の家には浄水器が付いています。家では浄水器を通った水道水ですが、水道水大好き子育て事業で水道水を直接飲む体験をしてもらい、成長した時に、倉敷の美味しい水を飲んだと言ってもらえたらいいと思います。私は毎月50人程集まる会があるので、そういう場で水道局の色々な取り組みについて回覧等でお知らせしたいと思いました。広報くらっぴい4月号の表紙の写真ではコップで飲んでいますが、このコップは自分で持って来ているのですか。

事務局 幼稚園では、ミルク等を飲むコップを各自持って来ていますので、それを使っています。体験の最後には、園児からの質問等を受けて、「水道水を初めて飲んだ」、「コップで飲んでおいしかった」、「なんかリンゴの味がした」、「こんなにおいしいんだ」という声を聞きました。保護者の方も来られていますので、生の声を聞いて、ひとつひとつ疑問や質問にお答えしていくことが理解を深めることに繋がると感じましたので、これからも事業に参加して直接お話しをさせてもらえればと考えています。

委員 他市の広報の仕方を研究しているとのことですが、何か参考になるものはありましたか。あれば教えてください。

事務局 見せ方、写真、文字の大きさ、レイアウトの仕方等について、実際に視察先の市が作成した広報紙を参考にしています。また広報紙作成時には、女性雑誌のレイアウト等を参考にしていると教えていただきましたので、女性雑誌の見せ方なども今回取り入れました。広報くらっぴいの見せ方としては、写真を大きくして、見せたい文字を大きく強調させていただきました。

委員 広報紙の見せ方の研究等をしていることは、こちらにはなかなか伝わらないので、会議で報告していただき、これから試したいことなどは、具体的に示していただけたら

うが委員からの意見が出やすいと思います。

事務局 委員の皆様からの貴重なご意見につきましては、これからの広報活動などに役立ててまいりたいと思います。ありがとうございました。

(2) その他について

- ・令和2年度市議会質問答弁の報告
- ・今後の予定

事務局 現在のところ次回開催の予定はございません。しかしながら、第10期の審議会のみなさまの任期は7月末までとなっておりますので、開催の必要性が生じた場合は、早めに連絡をさせていただきますのでよろしくお願い致します。

委員 今回で最後となるかもしれませんので、委員の皆様からお一人ずつ、簡単にご意見やご感想をお願いしてもよろしいでしょうか。

委員 会議に出席したことで色々なことを知り、水道水についてより興味を持ちました。安心・安全とおいしさについては強調して、市民の方々に広報していけば、もっと理解していただけると思います。

委員 私は子育て世代なのですが、小学校や幼稚園に出前講座に来ていただき、子どもから色々学べたらと思います。

委員 岡山県は水に恵まれていると思っています。蛇口をひねれば水が飲めるというのが当たり前として育ってきましたが、老朽化していく水道施設の更新には莫大な費用がかかるため、これからの水道業界は冬山に登る厳しさと言われていています。そのあたりを市民のみなさまに理解していただかないといけないことから、色々なPR・広報が大切になるだろうと思います。

委員 私は、子どもから水道水は飲んではいけないとか、先生に飲んではいけないと言われてたと聞いていたため、水道水を普通に飲んでいいということをこの会議で初めて知りました。子どもたちや先生たちにも知ってもらいたいので、色々な学校に出向いてもらって広めてもらえればと思いました。広報紙も子どもが写っていると目がいきますし見たいと思いますので、こういった感じでアピールしていただければと思います。

委員 水道局の学校や幼稚園での子どもたちへの取り組みや広報紙の工夫などを知ることができ、大変有意義な経験ができました。

委員 思った以上に水道に関することを色々知ることができてありがたく思っています。

委員 水道水については無頓着でしたが、委員になってから初めて関心を寄せるようになり本当によかったと思います。考えてみれば、水道水は自分の体に入っていくもので、生活にもかかわってくるものです。子どもさんや若い世代も大切ですが、一人暮らしを始め水道代を払い出す大学生などに向けて、何かアピールしていただく機会があればと感じました。

委員 委員になった当初には水道に対しては何も不満はありませんと申しましたが、会議に何度か参加する中で、みなさんの色々なご苦勞であったり、見聞きしたりして勉強させていただいたことを、今後はなるべく何か集まりなどの機会に、みなさんに広めたいと思っています。

委員 会議に参加したことで倉敷の水がこんなにおいしく安全だということを初めて知りました。しかし、家ではサーバーの水でご飯を炊き、水道水はお風呂と洗濯と洗い物に使っているという状況です。今後はサーバーの水ではなく、水道水を飲むように努力したいと思います。

委員 若いお母さんが子どもたちを連れてくるような場所にも携わってしまして、まず若いお母さんたちに倉敷の水道の良さをアピールできたらいいなと感じましたので、今後もPRに努めたいと思います。

委員 今までは水道に興味がなかったのですが、委員になったことで興味を持ち、倉敷市の水道はそのまま飲めるというのを知り、子どもたちにもそのことをきちんと伝えられるということが一番の成果だったと思います。

令和3年 4月13日

代表署名人

戸前 壽夫 